



国中だより

学校ホームページ <http://kunitachi.ed.jp/jh01/>

国立市立国立第一中学校
学校だより
令和6(2024)年10月号
10月15日(火)発行

読書の大切さを子供と一緒に考えてみませんか？

副校長 久保 光弘

近年、大人の読書量が減少し、一方で子供の読書量が増えているという興味深い現象が起きています。これは、私たち大人にとっても見過ごせない大きな変化といえるでしょう。

なぜ、子供の読書量が増えているといわれるのでしょうか。これは一概に「増えた」と断言できる状況ではありませんが、全ての子供が読書量を増やしているわけではなく、特定の層（例えば、読書習慣のある家庭の子供など）で読書量が増加している可能性があるとも考えられます。

また、本校でも行っている朝読書のように、学校での読書活動や、親が子供の頃に読んだ本と一緒に読むなど、読書の楽しさを知る機会が増えたことが考えられます。さらに、読書が子供の脳の発達や、思考力、表現力、共感力を高めるということが広く知られるようになったことから周りに勧められることも、要因の一つといえるかもしれません。

反対に、大人たちの読書量が減っているのはなぜでしょうか。私自身の心当たりとして最も大きな理由は、仕事や家事、育児など、日々忙しく、読書に時間を割くことが難しくなっていることが挙げられます。また、読書よりも動画視聴や SNS 利用に時間を費やすことで、読書から遠ざかってしまう人も少なくありません。また、そもそも学生時代に読書の習慣が身に付いていなかったため、大人になってからも読書の習慣がない人もいます。

ここでもう一度、読書の大切さについて考えてみます。

まず、本を読むことで、普段使わない言葉や表現に触れる機会が増え、語彙力が豊かになります。次に、物語の展開や登場人物の心情描写など、文章の構成を理解することで、自分の考えを文章で表現する力が養われます。

さらに、様々な物語に触れることで、想像力が刺激され、豊かになります。そして、物語の中で登場人物が様々な問題に直面し、それを解決していく過程を読むことで、問題解決能力が養われます。他にも、一つの事象を様々な角度から捉え、多角的な思考力が養われ、登場人物の行動の理由を考えたりすることで、論理的な思考力が育まれます。

別の視点から見ると、本の世界に没頭することによる集中力や、物語の内容を記憶し、理解するための情報処理能力、物語を通して様々な人の気持ちに触れることによる共感力、物語の中で描かれる善悪を通して、道徳観など精神的な成長も期待できます。他にもストレスを軽減し、心を落ち着かせることができたり、知的好奇心の刺激、新しい知識やスキルを身に付けることによる自己肯定感の向上など、心の栄養にもなります。

このように読書は、子供たちの成長に不可欠な要素の一つです。そして、私たち大人も自分の成長のためにも、もう一度読書の楽しさを思い出して、子供と一緒に読書の世界を広げていきましょう。

行事の秋！

桜の芽接ぎ体験ボランティア

国立駅前の大学通りのソメイヨシノの寿命は60年～100年程度と諸説ありますが、大学通りの桜もすでに70年を越えようとしています。国立一中の桜も同様に寿命が近づいています。次世代に桜の美しさを引き継ぐための桜の芽接ぎという方法があり、9月18日に国立市花と緑の会の方、環境政策課の方をはじめ、9名の方々にお越しいただき、生徒17名と一緒に芽接ぎを行い、地域の方の桜への思いを受け継ぐことができました。

3年修学旅行 9月23日～25日、1・2年生の校外学習での班行動の成果を京都・奈良という広範囲での班行動を実施することができました。残暑が厳しく心配されていた天候も、この3日間は比較的快適で、名所旧跡を巡ることができました。修学旅行スローガン「**なら(奈良)、今日(京)を楽しもう**」の通り、これまで一緒に過ごしてきた仲間たちで、一日一日を一生に一度の大切な思い出にすることができました。

2年職場体験

10月1日～3日、47に及ぶ地域の事業所の御協力のもと、3日間の職場体験を実施することができました。仕事の技能や内容はもちろん、社会人としての礼儀や態度を含めた仕事に取り組む姿勢の大切さについても学ばせていただきました。目に見える表面的な仕事だけでなく、実際に体験しないとわからない仕事内容があることに気付くことができた学びの機会となりました。地域の方々のサポートに本当に感謝いたします。

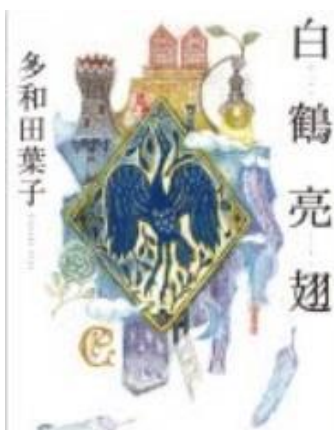
この後の事後学習では電子メールでお礼状を書き、発表者が発表内容を図やグラフ、イラストなどを用いてポスターとしてまとめ、お互いの前でプレゼンや質疑応答を行う「ポスターセッション」を行う予定です。

授業公開週間・道徳授業地区公開講座 10月7日～11日

日の3・4校時で授業公開週間を、10月12日に道徳授業地区公開講座を実施しました。授業公開週間は年度当初の予定はしていませんでしたが、少しでも地域や御家庭に学校での生徒の様子や授業についてみていただく機会を増やそうということで実施しました。公開週間が延べ150人以上、土曜日だけでも170名以上の方々が来てくださり、授業の様子や休み時間の生徒たちの様子を見ていただくことができました。道徳の授業は、1年生「社会参画・公共の精神」、2年生「より良く生きる喜び」、3年生「生命の尊さ」、A組「思いやり・感謝」という内容で実施しました。授業後の意見交換会では、学年ごとに分かれて懇談会のような雰囲気で行うことができました。御参加いただきありがとうございました。

卒業生の活躍の報告

先日、ニュースでノーベル文学賞の発表がありましたが、「ノーベル賞が期待される世界の作家たち」として、日本からは村上春樹さんに並んで、本校卒業生の多和田葉子さんが紹介されていました。惜しくも受賞はなりませんでしたが、先輩の活躍はうれしくもあり、在校生にとっても世界的な活躍が身近に感じられる良い機会となりました。多和田さんは1960年、東京都生まれで、本校卒業後、都立立川高等学校に進学、早稲田大学第一文学部ロシア文学科を卒業後、22歳のときに当時の西ドイツに渡られました。そして、1991年にデビュー後、1993年に『犬婿入り』で芥川賞を受賞。他にも『容疑者の夜行列車』で谷崎潤一郎賞、『雪の練習生』で野間文芸賞、『雲をつかむ話』で読売文学賞など、国内のあらゆる主要文学賞に輝きました。2018年に『献灯使』で全米図書賞の翻訳文学部門を受け、2023年、ベルリンで独り暮らしをする日本人女性を描いた『白鶴亮翅(はっかくりょうし)』を刊行されています。読書の秋のこの機会に、読んでみてはいかがでしょうか。



いじめアンケートについて 11月にいじめについてのアンケートを行います。その際、学校や家庭で不安や悩みを抱える生徒の早期発見のための質問項目も加え、生徒の抱えている悩み等に対応をしていきます。アンケートの結果を受けて必要に応じて面談をしたり、御家庭と連携して生徒の悩みの早期解決を図っていきますので、御協力よろしくお願いいたします。

10月・11月の主な予定

10月

- 16日(水)⑤カット ④学活 早給食 12:45頃下校
- 21日(月)避難訓練(7日から変更になりました。)
- 23日(水)SC相談日 放課後学習教室
- 24日(木)A組合同宿泊
- 25日(金)A組合同宿泊 3年進路説明会 15:00～
- 30日(水)SC相談日 ⑤学活 放:合唱コンクール準備
- 31日(木)合唱コンクール(たましんRISURUホール)

11月

- 1日(金)3年進路面談期間始～11月12日まで
※面談期間中は3年午後カットになります。
- 3日(日)文化の日
- 4日(月)振替休日 期末試験2週間前
- 5日(火)Ⅱ期時間割開始

- 6日(水)⑤カット ④学活 早給食 12:45頃下校
放課後学習教室あり SC相談日
- 7日(木)⑥1年歯科講話 放:花植えボランティア
- 8日(金)A組歯科指導
- 11日(月)避難訓練 期末試験1週間前
- 12日(火)SC相談日 3年進路面談期間終了
- 13日(水)全校朝礼 SC相談日 放課後学習教室
- 14日(木)放課後学習教室
- 15日(金)⑤⑥自転車交通安全教室 安全指導
放課後学習教室

<当面の試験日程>

- 18日(月)期末試験(英語・保体・音楽)
- 19日(火)期末試験(国語・社会・美術)
- 20日(水)期末試験(理科・技家・数学)
- 21日(木)①～⑤3年 復習確認テスト

